

## 2025年度第3回幹事会議事録

1. 日時：2026年3月7日（土）19時～20時30分
2. 場所：オンライン
3. 出席者：計17名  
毛利会長、古屋敷副会長、渡邊幹事長、中島副幹事長、鎌田事務局長、山内副事務局長、嶮会計、  
風間幹事、都幹事、須田幹事、千釜幹事、吉山幹事、市川幹事、根本幹事  
（オブザーブ）上手相談役、平吹監督、西岡コーチ  
（欠席）河上監査、菊地幹事、吉岡幹事、及川幹事、大野幹事、千葉幹事、伊東幹事、久保田幹事、  
安達幹事、和泉田幹事、伊藤幹事、白畑幹事、山田幹事、岸幹事

### 4.議案：

- (1) 【決定事項】 スケジュール 4/18（土）17:00～18:30（予定）  
2026年度通常総会@アイビーホール校友会A室  
※対面+リモート(ZOOM)のハイブリッド方式  
終了次第（18:30頃～20:30頃）懇親会 @アイビーホール1F フィリア
- (2) 『2026年度通常総会』に向けた議案について
  - ① 開会挨拶（毛利会長）  
大きな問題となる課題は無いが、本会の財政状況については改善の必要があり、注視している。本日は忌憚なく意見を頂きたい。
  - ② 2025年度活動報告案  
【決定事項】  
・全会一致にて、了承された。  
  
【意見・補記】  
・今年度のオール青山剣道祭の際に郵送した活動報告に追記した内容となっている。  
・現役・剣友会の活動啓蒙を意図して、写真を多く取り入れて作成している。  
・総会の案内状にも同封予定。
  - ③ 2026年度活動計画案  
【決定事項】  
・全会一致にて、了承された。

・オール青山剣道祭の実施日程・方法、学連剣道大会参加に係る支弁の抑制等については継続検討事項とした。

【意見・補記】

- ・3/7（土）～9（月）の間に短大体育館で春合宿に代わる春季強化練習を実施している。
- ・3/21（土）4年生送る会を実施予定。その際に、小森前女子主将に対し、OBOG 連合会顕彰の表彰授与も行う予定。
- ・重点課題については、大きな変更は特になし。4. 高等部指導体制サポートについては、毛利会長が高等部監督と面会を予定している。
- ・5/6（水）、5/10（日）第72回関東学生剣道選手権大会、第58回関東女子学生剣道選手権大会の予定。
- ・オール青山剣道祭の日程については、以前は高等部、中等部を招待し開催していたが、ここ数年、学連剣友大会（12月）に併せて開催することにより、その選手を含めより多数のOBOGが参加して盛会を目指してきた為、高等部・中等部の試験期間と重なる等により参加出来なくなっている。他のクラブ含めて高等部、中等部の育成はテーマになっているため、参加可能な日程を再度検討してはどうか？もしくは、別の機会に各世代が集まるイベントを企画しても良いと考える。
- ・学連大会に遠方からOB・OGに来ていただくのは良いが、旅費が多額になることから、その対策を踏まえた剣友会の運営方法を考える必要がある。
- ・オール青山剣道祭に高等部、中等部が参加できず、大学と交流する機会が無くなっており距離が出来ていると感じるため、日程は検討の余地があると考えます。
- ・学連大会に遠方からの参加する選手への旅費の支弁については、特別寄付を募る等の対応も今後検討したい。

④ 2025年度決算案・監査報告

【決定事項】

全会一致にて、承認された。

【意見・補記】

- ・収入では、会費実績152万円（152名）、予算170万円に対して18万円のマイナス。特別会計取り崩し収入14万円があった。
- ・支出では、旅費支出が学連大会参加選手への交通費等により予算20万円に対して52万円と大幅超過した。また、学生活動奨励費も学連中国遠征補助等により予算15万円に対して55万円と超過した。
- ・学生大会審判派遣とは？→小規模（公式戦ではない）学生の大会へOBOGが審判に派遣された際の謝礼金（交通費補填）。

⑤ 2026年度収支予算案

【決定事項】

全会一致にて、承認された。

【意見・補記】

- ・収入は 230 万円を計上し、支出についても今年度の実績ベースで調整した。新たに学生大会審判派遣費の項目を新設し 6 万円を計上した。収支としてはかなり厳しい状況。
- ・総会の案内の配布は、デジタル化で圧縮効果はあった。それ以外は旅費等で止むを得ないと思う。20 代後半と、40 代が会費の支払いが少ない状況であり、何らかの対策が必要。
- ・収入は過去に比べると伸びてはいるが、学生支援とか交通費支援等の過去には対応していなかった支援（支出）が増えている。事務関係の手続きについては、可能な範囲でデジタル化する必要がある。ただ、アナログ（紙）・デジタル（メール）の二重対応になるとコストも手間も落ちないため悩みどころ。工夫の余地あり。
- ・年会費だけでなく、寄付を募る等の収入を増やすことを検討してほしい。また、学生に対して OBOG 会の状況について伝えることも必要と考える。
- ・学生への直接寄付については、校友会経由の支援（寄付先指定の寄付）の寄付者開示が可能になったようで、11 月に 7 万支払いがあった。名前も含め、今後このような内容については執行部や幹事にも共有していきたい。
- ・今年あったような学連の海外遠征は毎年予定されるものなのか？ ➡ 募集があって自分で手をあげているため、そこまでの支援は不要と考える。

⑥ 2026 年度剣友会役員選任案

【決定事項】

全会一致にて、承認された。

【意見・補記】

- ・嶋会計が退任し、前任の中島副幹事長に 1 年間限定で会計を兼任頂く予定。
- ・市川幹事が退任し、次年度より新たに近藤幹事が交代で就任予定。
- ・新規に今年度卒業する小森幹事が就任予定。

⑦ 剣友会会則改定案

【決定事項】

全会一致にて、承認された。

【意見・補記】

- ・関東学生剣道連盟への役員派遣について、剣友会での推薦プロセスが未整備であったことから、今回、追記を行いそれに伴う改定を行いたい。
- ・OBOG 連合会で指導者を大学側で承認してもらうのは、部長と剣友会会長である。
- ・本会則以外だが、大学で定められている剣道部の規定は？ ➡ 2022 年に部規則として制定され、昨年の部長交代時に引き継がれているはず。

⑧ 2026 年度新入会員承認案

【決定事項】

全会一致にて、承認された。

【意見・補記】

・今年度卒業する4年生10名（男子8名・女子2名）の入会について承認された。

⑨ その他、報告・共有事項

以下、重点活動課題を共有した。

- ・会費納入率の向上（納入手段の多様化）
- ・剣友稽古会（OB・OG 稽古会）の活性化
- ・会員への剣友会活動の周知啓蒙
- ・高等部指導体制へのサポート
- ・剣友会役員体制の接続的安定化

(3) その他

① アイビーリーグ代表者会議参加報告（共有事項）

古屋敷副会長より報告された。

- ・通信費は必ず申請を⇒剣友会では毎年申請・承認されており、ZOOM PRO 使用料に充当している。
- ・ラグビー部と山岳部が活動紹介を行い、本学関係者へ周知することは効果的と感じた。
- ・周年行事等への支援金の申請を既に10団体程度が行っており、予算内での配分となることから分配額が減額されるとのこと。⇒剣友会でも120周年記念行事の際に申請し、承認された事例がある。

以上